

(請負代金・役務提供型売掛)

請求の趣旨【前記記載のとおり】

- 1 被告【ら】は、原告 に対し、【連帯して】次の金額を支払え。
- (1) 金 603,000 円
- (2) (1)の金額【のうち金 _____ 円】に対する【 _____ 年 _____ 月 _____ 日
本訴状送達の日翌日】から支払済みまで年 ● パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は被告【ら】の負担とする。
- との判決【及び仮執行宣言】を求める。

請求の原因(紛争の要点)

- 1 原告 は、【 内装請負 業を営む者であり】、被告 株式会社霞が関 と、平成 31年 4 月 1 日、以下の内容で契約を締結し【以降、継続的に仕事(業務)を行っ】た。
- (1) 仕事または業務(以下、「仕事等」という。)の内容
被告 株式会社霞が関 から依頼(委託)された仕事等を【完成(完了)させる 行う】旨の契約で、その具体的内容は、以下のとおりである。
- 【 キッチンまわり及び風呂・トイレ関係の内装工事 】
- (2) 契約代金
【【総額 月額】 _____ 円 別紙のとおり 各工事完成後
その都度決める】
- (3) 支払期日
【 _____ 年 _____ 月 _____ 日 定めなし 別紙のとおり
毎月 末 日締切 (翌 当) 月 末 日支払 】
- 【 (4) 連帯保証人
被告 甲山乙人 は、平成 31年 4 月 1 日付け、保証を証する書面にて連帯保証した。】
- 2 原告 は、上記 1(1)の仕事等を、平成 31年 4 月 25 日【から 令和 元年 8 月 8 日までの間】に【完成(完了)させ【完成物を引き渡し】た 行った】。
その代金は、【総額】 1,255,000 円である (詳細は別紙のとおり)。
- 3 上記 2 の代金について、原告 に支払われた金額は、【ない 次のとおりである】。
 令和元年 6 月 10 日【から _____ 年 _____ 月 _____ 日までに】 652,000 円
- 4 よって、原告 は、被告【ら】に対し、【連帯して】 603,000 円【及び
遅延損害金】の支払を求める。